

岐阜県代協ニユ

平成25年2月
vol.215



一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会

『日本代協 グリーン基金 寄付先団体』

一般社団法人岐阜県損害保険代理業協会 会長 こんどう しんご 近藤 信悟

小生、20代前半に日本酒にはまってしまい、吟酒会なるものにも入会し、30年が経過してしまいました。そんな中知り合いに誘われ、長良畔の老舗旅館で行われた「日本酒会呑み比べ」に参加させていただきました。岐阜の酒蔵4社が協賛し、アカデミックにプロクジェクターでの講義を受けてからの試飲会です。どこのお酒も個性的で、魅了されてしまうものばかりでした。

また、驚いたのは、どの杜氏さんも30代。なかには女性の杜氏も・・・聞けば皆さん東京農大出身。「醸造」の名をもつ専門教育機関だそうです。ますます味はレベルアップし、今後も美味しいお酒が呑めそうです。



日本損害保険代理業協会では、社会貢献の1つに、地球環境保護に取り組んでいる団体を支援するための寄付金を贈呈する「グリーン基金」を平成11年度に設け、平成12年度から関係諸団体へ寄付を行っています。本活動は、日本代協の大事な施策であり、平成23年度は会費の2%相当額(約200万円)を目途として実施されました。平成24年度のグリーン基金寄付先団体につきましては、2月14日の日本代協理事会において“15団体”に対して寄付を行うことが承認され、寄付先団体には(福)日本介助犬協会・(特非)世界の砂漠を緑で包む会 etc・・・

そして、岐阜県代協の推薦からは『メイク・ア・ウィッシュ オブジャパン名古屋支部』が選出されました。メイク・ア・ウィッシュは1980年アメリカ合衆国のアリゾナ州で始まった世界最大の願いをかなえるボランティア団体で、唯一の目的は「難病と闘う子供が持つ夢のてつだいをする・・・」こと。日本では、1992年よりメイク・ア・ウィッシュオブジャパンが支部として活動し、2012年で20周年を迎えられ、これまでに1400人以上の子供たちの夢をかなえてきた非営利の団体です。

(岐阜支部所属 (有)ゼーバル 河野さん推薦です。)

「グリーン基金」は毎年の推薦となりますので、来年も選出される団体を是非ご紹介下さい。

また、「グリーン基金」については、“寄付して終わり”となるのではなく、寄付先団体との関係構築に努め、当該団体の活動に参加する等、努めて参りたいと思いますので、会員皆様のお力添え宜しくお願い申し上げます。

さて、2月8日(金)に長良川スポーツプラザに於いて、平成24年度 新入会員オリエンテーションを開催いたしました。11名の新入会員・後継者が参加し、代協とはなんぞや?何をやっている団体?なのかなを中心に講習いたしました。各委員長、組織委員、担当支部長、副会長の解説のほか、岡部日本代協会長にも「代協活動の現状と課題」を講演していただき、今後の代協活動に役立てていただけることと思います。

また、2月1日より全国一斉「代協正会員2月入会キャンペーン」がスタートしており、2月28日をもってキャンペーンは終了されます。岐阜県代協では、現在3名のご入会をいただきましたが、次年度のオリエンテーションには多くの新入会員のみなさまにご参加いただけるよう、理事役員の皆さん、会員の皆さんに「代協正会員2月入会キャンペーン」へのご協力をお願いいたします。

目次

1 p・・・会長挨拶/目次	9 p・・・中さんの保険諸国漫遊記 (82) ①
2 p・・・スケジュール/広報機関誌より	10 p・・・～保険ジャーナリスト 中崎章夫 ～ ②
3 p・・・日本代協報告	11 p・・・『街道シリーズ』(中山道 6) 松尾 一
4 p・・・支部活動報告①	12 p・・・SHINWA グループ
5 p・・・支部活動報告②	13 p・・・損害事故復旧サービス～ホームステップ(株)竹ダ～
6 p・・・委員会報告	14 p・・・交通事故による損害復旧工事～(有)岐垣創建～
7 p・・・代理店紹介	15 p・・・企画環境委員会紹介
8 p・・・会員投稿	

スケジュール/事務局より

～ スケジュール ～

日付			主催	行事・議題・内容など	開催場所
2	6	水	CSR	委員会(13:30～)	岐阜県代協事務局
	6	水	西濃支部	例会(12:00～)	鶴見天近
	8	金	組織	新入会オリエンテーション(13:00～)	長良川スポーツプラザ
	13	水	中濃支部	例会(10:30～)	中山道会館太田宿
	14	木	教育	打ち合わせ(13:00～)	県代協事務局
	14	木	東濃支部	幹事会(11:00～)、例会(11:30～)	みわ屋
	15	金	岐阜支部	新春研修会・懇話会(15:00～一泊)	十八楼
	21	木	県代協	理事会(13:30～)	瑞穂市総合センター
	26	火	飛騨支部	役員会	
3	5	火	岐阜支部	役員会(12:00～)	岐阜県図書館
	6	水	西濃支部	例会(12:00～)	鶴見天近
	7	木	CSR	グリーン基金贈呈式(14:00～)	事務局
	11	月	CSR	地震保険キャンペーン	各支部
	13	水	中濃支部	例会(10:30～)	中山道会館太田宿
	14	木	東濃支部	例会(11:30～)	みわ屋
	15	金	日本代協	臨時総会、理事会、全国会長懇談会	損保会館
	15	金	西濃支部	ボウリング大会(18:30～)	大垣ボウリングセンター
4	10	水	西濃支部	平成25年度 支部総会(14:00～)	スイトピアセンター
	10	水	中濃支部	平成25年度 支部総会(11:00～)	日本ラインゴルフ倶楽部
	11	木	東濃支部	平成25年度 支部総会(11:00～)	みわや
	17	水	岐阜支部	平成25年度 支部総会(14:00～)	長良川スポーツプラザ
5	16	木	県代協	平成25年度 定時会員総会(13:30～)	長良川スポーツプラザ
6	18	火	日本代協	通常総会(10:00～)	損保会館

事務局より

※ 総会日程のお知らせ

日本代協	平成25年 6月18日(火) 10:00～	損保会館
県代協	平成25年 5月16日(木) 13:30～	長良川スポーツプラザ
岐阜支部	平成25年 4月17日(水) 14:00～	長良川スポーツプラザ
西濃支部	平成25年 4月10日(水) 14:00～	スイトピアセンター
中濃支部	平成25年 4月10日(水) 11:00～	日本ラインゴルフクラブ
東濃支部	平成25年 4月11日(木) 11:00～	みわ屋
飛騨支部	未定(2月26日 役員会にて決定予定)	

岐阜県代協事務局 TEL : 058-294-1221 FAX : 058-294-8051
Eメールアドレス : gfdaijyo@opal.ocn.ne.jp (担当:小川百合子)

日本代協報告

平成 24 年度グリーン基金寄付先団体の決定

平成 24 年度のグリーン基金（公募）の寄付先団体につきましては、2 月 14 日の理事会にて、下記の通り 15 団体に対して寄付を行うことが承認されました。（平成 25 年 2 月 15 日 第 12-228 号(K-9)より抜粋）

（1）継続応募 7 団体（担当代協との活動報告有）：各 10 万円

団体名	対応代協	団体名	対応代協
(特非)庄内海岸のクロマツ林をたたえる会	やまがた	(特非)町屋百人衆	三重
(特非)広瀬川の流域を守る会	宮城	(公財)大阪みどりのトラスト協会	大阪
盤州干潟を守る会	千葉	(特非)共生の森	大阪
(特非)いのちのミュージアム	東京		

（2）継続応募 5 団体（担当代協との活動報告無）：各 5 万円

団体名	対応代協	団体名	対応代協
(特非)アサザ基金	茨城	(特非)チャイルドライン京都	京都
(特非)山の自然学クラブ	東京	(特非)筑後川流域連携倶楽部	福岡
(福)日本介助犬協会	東京		

（3）新規応募 2 団体：各 10 万円

団体名	対応代協	団体名	対応代協
(特非)いわて森林再生研究会	岩手	コウノトリ湿地ネット	兵庫

（4）新規応募 8 団体：各 5 万円

団体名	対応代協	団体名	対応代協
(特非)移動保育プロジェクト「ポッケア」	福島	(一財)メイク・ア・ウィッシュ オブジャパン名古屋支部	岐阜
(公財)日本補助犬協会	東京	(特非)世界の砂漠を緑で包む会	石川
(特非)神奈川こども未来ファンド	神奈川	(公財)天神崎の自然を大切にする会	和歌山
(特非)未来の荒川をつくる会	山梨	チャイルドラインおおいた	大分

（5）従来から継続している寄付先

団体名	金額と期間
財団法人 四万十川財団	年 5 万円（平成 24 年度まで）
財団法人 尾瀬保護財団	年 20 万円（平成 24 年度まで）

<参考：今回寄付先としない応募団体>

団体名	団体名
触察絵本グループ「わか草」	富士山を世界遺産にする国民会議
一般社団法人あんだんて	(特非)がんサポートセンター
Kinoa (Kirigamine Nature Observation Association)	(特非)WITH
(公財)オイスカ	

支部活動報告

【岐阜支部 2月活動報告】

○岐阜支部 2月役員会報告

開催日時 : 平成25年 2月 5日 (火) 12:00～

開催場所 : 岐阜県図書館 レストラン杏

出席者数 : 13名

報告者名 : 岐阜支部長 川島 邦夫

《議題》

①会員増強について……例年行われる、2月入会金返金キャンペーンは無いが、引き続き注力する

②新春研修会・懇話会について……14:00時集合、14:30受付開始、15:00セミナー開始

出欠未返信の代理店がまだまだ多い

③支部総会について……4月17日(水) 14:00～ スポーツプラザ

今回の総会記念セミナー講師について

中崎氏ではなく、他の講師をお招きする。来月の役員会で正式に決定

④県代協からの報告……2月23日(土)に中日新聞広告掲載、各行事の出欠席の連絡を確実にする

⑤その他……ペットボトル集めに加え、使用済み切手集めへの協力も検討

※次回役員会は 平成25年 3月 5日(火)12:00～ 場所 岐阜県図書館 レストラン杏にて

○岐阜支部新春研修会、懇話会報告

開催日時 : 平成25年 2月15日(金) 15:00～

開催場所 : 十八楼

出席者数 : 研修会51名、懇話会31名(内 宿泊13名)

報告者名 : 西ブロック長 江尾 正好



《内容》

平成24年11月16日に開催されました日本代協コンベンションの分科会にて岡部日本代協会長と対談された岐阜県代協 東濃支部 永井伸一郎氏(株式会社ディー 代表取締役)の講演を聴きたいとの支部会員の声があり、研修会講師としてお招きいたしました。

ブランディング(ブランド作り)を通じて地域での存在感を高め、地域に認知される代理店のあり方を実践されている永井氏の講演は、実際の営業現場でどのように活動をしているのかが具体的にわかる内容で、すぐに実践することができるものもあり同じ岐阜県で同じマーケットでもあれだけの活動ができることを知り大変参考になりました。

その後の懇話会では今後の代理店の在り方や代協活動の在り方など和気あいあいと話し合いました。

【西濃支部 2月例会報告】

開催日時 : 平成25年 2月 6日(水) 12:00～13:00

開催場所 : 大垣「鶴見天近」

参加者数 : 18名

報告者名 : 小林 悦雄

《議題》

①賛助会員 (株)イケダ様の会社説明 事故、雪害、介護保険などの保険関係の工事について

②委員会報告

企画環境 : 企業による団体保険制約、悪質住宅修理業者について、商工会集団扱いについて報告

教育 : トータルプランナーの案内

新入会員オリエンテーションの案内

平成25年2月8日(金) 13:15～17:00

組織 : 会員増強についてお願い

(次ページへ)

③「NASVA」独立行政法人自動車事故対策機構の概要説明とパンフレット配布

④西濃支部総会の打ち合わせ

平成25年 4月10日(水) 13:00スイトピアセンター予定

セミナーは「救命救急講習」を予定

⑤ボウリング大会の打ち合わせ

平成25年 3月15日 18:30スタート予定

⑥その他各社の動向

※次回 3月6日(水) 12:00～ 場所 鶴見天近

【中濃支部 2月例会報告】

開催日時 : 2月13日(水) 10:30～

開催場所 : 中山道会館 太田宿

参加代理店 : 9名 (出席率39%)

報告者 : 福地 誉

《内容》

①支部総会は、4月10日(水) 日本ラインゴルフ倶楽部にて11:00より開催します。

②地震保険普及キャンペーンにつきましては、3月11日(月) 美濃太田駅前にて17:00より行う予定です。

③教育委員会より、認定代理士として新たなメンバーが増えたこと、大学課程コンサルティングコースの受講者については、目標をクリアできたことの報告をいただきました。

※3月13日(水) 中山道会館太田宿にて定例会を開催しますので皆様の参加をお待ちしております。

【東濃支部 2月例会報告】

開催日時 : 平成25年2月14日(木)

参加者数 幹事会:11:00～ 6名出席

定例会:11:30～ 9名参加

開催場所 : みわや 瑞浪市釜戸町

報告者名 : 中山 幸士

《議題》

①平成25年3月11日地震保険加入推進キャンペーンについて

場所 : JR 中央線多治見駅・中津川駅

時間 : AM7:30集合・開始

②平成25年度東濃支部総会の日時について

平成25年 4月11日(木)

場所 : みわや

時間 : AM11:00より



【飛騨支部活動報告】

○平成25年度飛騨支部新年会

開催日時 : 平成25年2月1日(金) 18:30～

開催場所 : ひだホテルプラザ

参加者数 : 26名 (会員14名、保険会社3名、提携業者9名)

報告者名 : 馬場 浩之

《2月活動予定》

2月26日(火)に役員会を予定しております。

詳細は来月報告致します。

委員会報告

【企画環境委員会】

① 第3回東海ブロック企画環境委員会開催

平成25年 1月21日(月) 愛知県代協事務局にて

出席者 小栗副会長 水野委員長(岐阜)、高木会長 林専務理事、神谷委員、浅井委員(愛知)
太地委員、角田委員(三重)、薩垂委員長(静岡)

《内容》 ①日本代協企画環境委員会報告 ② 公正な募集環境整備にむけた活動
③ 代理店賠償加入促進について ④ 各県代協からの活動報告

※ 次回開催は H25年 5月21日予定

②第5回 岐阜県代協企画環境委員会開催

平成25年 2月5日(火) サイゼリア岐南町にて

出席者 小栗副会長、水野、塚本委員、増田委員、棚橋委員、山口委員 全員出席にて

《内容》 ①東海ブロック企画環境委員会報告 ②公正な募集環境整備について

③代理店賠償加入促進状況 ④提携事業者との連携について経過報告

⑤来季事業計画、予算案

※次回日程 5月28日(火) 予定

(報告者 委員長 水野 一利)

【組織委員会】

新入会員オリエンテーションを開催いたしました。



開催日時 : 平成25年 2月 8日(金) 13:30~

開催場所 : 長良川スポーツプラザ

参加者数 : 28名(新入会員、及び支部長推薦会員11名、
理事役員17名)

《内容》 新入会員および支部長推薦参加として会員代理店の後継者、従業員の皆様にもご参加をいただきました。講師に近藤会長、岡部日本代協会長、各委員長等をお迎え、代協の現状、岐阜県代協の活動等を講演していただき、代協活動について皆様に理解を深めていただきました。

その後の懇親会では、お互いの親睦を深め、今後の代協活動に積極的に参加するとの意気込みを感じました。

②新入会員の紹介

中濃支部 : (有) 渡邊総合保険事務所

代申 損保ジャパン

店主 渡邊 修

〒501-3721 美濃市吉川町 1754-7

TEL 0575-33-2249

FAX 0575-35-3016

(平成25年2月4日入会)

紹介者 (有) 加茂ジャパン総合保険 奥村清二様

中濃支部 : (有) 水野総合保険サービス

代申 損保ジャパン

店主 水野 和幸

〒505-0302 加茂郡八百津町錦織 724-2

TEL 0574-43-2763

FAX 0574-43-2465

(平成25年2月4日入会)

(報告者 委員長 石原 壮逸)

代理店紹介

岐阜支部 株式会社 ACT (アクト)

<代理店名>

株式会社ACT (アクト)

<事務所所在地>

〒501-6018

羽島郡岐南町下印食5-72

シェラトン赤塚21A

TEL 058-216-0727

FAX 058-276-8983

E-mail act7778_3731@yahoo.co.jp



<代表者名>

奥村 宏明

<スタッフ>

7名 (営業 6名 事務 1名)

<取扱保険会社>

損保 東京海上日動火災保険 計 1社

生保 東京海上日動あんしん生命 計 1社

<略歴>

1993年 東京海上に新卒研修生として入社

1997年 独立し、奥村保険事務所を設立

2007年 法人化し、(株)ACTを設立 現在に至る。

<事務所の環境>

名鉄 岐南駅より徒歩1分のところに事務所があり、
周囲は閑静な住宅街で環境は抜群です。

<経営理念>

お客様おひとり、おひとりのライフスタイル、
ライフプランの変化に合わせた
お客様の意向を反映した提案を致します。



会員投稿

あの日から2年・・・

2011年3月11日14時46分18秒、誰も忘れられない誰も忘れることの出来ないことが起こりました。宮城県牡鹿半島の東南東沖130kmの海底を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生。地震の規模はマグニチュード(Mw)9.0で、日本周辺における観測史上最大の地震でした。最大震度は宮城県栗原市で観測された震度7で、岩手県沖から茨城県沖までという広範囲に及びこの地震により巨大津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。

また、巨大津波以外にも、地震の揺れや液状化現象、地盤沈下、ダムの決壊などによって、北海道南岸から関東南部に至る広大な範囲で被害が発生し、各種ライフラインが寸断されました。

日本政府は震災による直接的な被害額を16兆から25兆円と試算。この額は被害が大きかった岩手・宮城・福島の3県の県内総生産の合計に匹敵し、また震災における経済損失額は世界最大とされています。そして、震災以後も、2011年9月には戦後最大級の勢力をもって上陸した台風15号によって被災地が広範囲で浸水し、福島第一原発では汚染水上昇等の被害も起きました。



そして、あの日から2年が経過しました。いかにも被災地は復興に向っているような報道等がされる現在、震災前と変わらない生活を送る方がいます。『もう支援はいらない』『もうボランティアは必要ない』とおっしゃる方もいます。ボランティアにいかれた方の中には『逆に元気ももらった!』とおっしゃる方がいます。しかしその裏に、人前では元気に笑っていても眠れないほど悩み、苦しみ・・・精神科に通われている方、気丈にふるまっても、生活が苦しく実はお米を買うのも大変な方もいらっしゃいます。事業再開はしたものの上売が戻らない、働きたくても就職先がない人もいます。被災地外では、震災バブルなどと言われているようですが、それはほんの一部です。被災地は一括りではないという事です。格差は広がるばかりのように感じます。

未曾有の災害と言われた震災から2年、被災地では経験したことのない未曾有の復興への取り組みが続いています。復興事業が進むにつれて次々と現れ、立ちほだかる新たな課題に対して、平時のルールに縛られない対応が求められるのはこれからも変わりません。2年が経過した今・・・思うのは、被災地には「不安、焦り、いら立ち」のようなものが充満しています。国や行政など、もう「当てに出来ない」という声が多く聞かれます。また、それとは裏腹に「何とかして欲しい」という声も多くあります。

自分も含め何かないとなかなか世間の話題にも登らなくなりました。不自由な生活をしている方々、家族を亡くし立ち上がれない方々は未だに数十万人もいらっしゃいます。胸を張って復興したと言える日はまだまだ先だから、まだまだ風化させてはなりません。その人が、実はたいへん悩み、苦しんでいる事にどれだけ気付けるか、どれだけ寄り添えるかが、大切なのだと思います。もう二年ではなく、まだ二年なのです。日本に生きる人間として、少しでも力になれることをこれからも考えていきたいと思ひます。

(投稿者 : 復興を考える人)

專業プロ代理店事業の活路の3つの「S」

・・・スモール、スマート、センス

◇旬の越前カニを求めて

一度冬のシーズンに雪景色とカニを存分に味わいたいと思い、1月末に、シーズンの越前カニを目玉にした夫婦バスツアーに加わり福井県の奇岩名勝地東尋坊近くの三国温泉に行ってきた。体をシートに預ければ格安で運んでくれるだけに重宝している。当日、出発地の千葉も思わぬ積雪があり、交通混乱で、あわや中止かとも思われたが、バスのやりくりをつけ2時間遅れでの出発、一路目的地を目指し、それは長い旅となったが、ツアーバスの旅は昨年も4回経験しており、アルコール、つまみなど類の持ち込みなど抜きなく、それはそれで楽しいものである。目玉のカニ料理は、三崎漁港で採れたての黄色の三国港の刻印があるタグ付き越前ガニと、小振りなズワイガニ2杯と各種カニ料理が出てきた。越前ガニとズワイガニは一目でそのサイズの違いが明確だったが、正直、どちらも美味かった。早速お目当ての味噌ぎっしりのカニの甲羅に熱燗の酒を注ぎ、それを口に運ぶ。採れたて、茹でたてのカニ味噌は、濃厚で、香り高い品の良いうまみが襲ってくる。これはもうたまらん。カニ刺しや焼きガニ、揚げ物などに目もくれず、とにかく、大好物のカニの味噌に、身を申し訳程度に添えた甲羅酒を心ゆくまで楽しむ。カニの身を中心にした料理自体はそれほどの頓着はなく、もっぱらかみさんに任せた。上さんはカニの味噌は生臭くてきらい、というのでこれ幸いとせしめ、徳利も次々と並べられてゆくが、次第にカニ味噌が薄まってゆくのが残念であった。甲羅酒と温泉三昧の冬の雪景色の旅は実にいいものであった。

◇專業プロ代理店と3つの「S」

ところで、これからの專業プロ代理店の事業の在り方を何かうまく言い表すことはないか考えてみた。ネット通販や全国展開の来店型ショップや銀行、自動車ディーラーなどの攻勢で、地域專業プロ代理店の旗色が悪いように思われる。代理店事業モデルを考える場合も、とかく大型化がうわすべりで提起されるが、專業プロ代理店のトップの意識改革抜きに試みられるのであれば、徒労に終わるのではなからうか。むしろ專業プロ代理店にはフォローの風が吹いているので、その風をうまく受け止め、新たなチャレンジに乗り出す時ではないか。夢のあるキャッチフレーズで、これからの活路を示すことができないだろうか、その場合イメージに落とすのが理解を得るのに手取り早いからだ。その結果、3つの「S」で括れるのではないかと思った。

◇「スモール」の「S」

一つは、『スモールビジネス』の「S」である。專業代理店の活路を考えると、大きいことは良いことだとばかりに、『大型化』がしばしば提唱される。「家業から企業への脱皮」等も勇ましいスローガンであり、そのこと自体別に間違いではない。しかし、規模拡大を自己目的化してよいのだろうか。大型化は本当に明日を約束するものなのだろうか。

私はむしろ、今一度お客さまに支持される代理店の在り方を考え直すべきではないかと思う。変化、多様化著しいこれからの時代は、画一性、量、平均、総花的な品揃え、よりも、個性、質、こだわり、専門性、などの価値に重きを置く顧客層が増えてくる。その意味で、狙い目顧客層を明確にし、自らの質やこだわりを見える化し、具体化した展開を自在に取れる小規模組織（スモールビジネス）モデルが注目されることになる。

広域で展開する量販店的モデルとは一味も二味も違う顧客密着の特性を活かした事業展開に活路はある。量販店モデルは、家電業界を見ても分かる通り、徹底した効率化により価格優位性を武器に不断の拡大を図る展開が特徴であり、採算基準での店舗運営に特徴がある。それは同時に店舗の均質化に向かい、店ごとの特性を打ち出しにくくせざるを得ない。出店スピードは速いが撤退も同じで、『サーカステント小屋』ではないが地域への執着がどこまであるかが問われるところとなっている。

これに対してスモールビジネスの強みは、まさに地元顧客に寄り添い、痒いところに手の届く対応ができるところにある。

ここでのスモールビジネスとは、誤解はないと思うが1, 2人のいわば個人業を意味しない。サービス品質を保証し、顧客の支持を継続的に獲得していくためには、役割を分担した組織的対応が必要なのは言うまでもないからだ。筆者の描く保険代理店のスモールビジネスの基本ユニットは5名の倍数で展開されるコンパクトで生産性の高い家族から発したオープン家業（他人を融合した）や年代層を異にし、個性あるスタッ

フからなるチーム制をとる機動的組織をさしている。そしてこの基本ユニットの倍数での展開を想定している。1人のリーダーが営業や内務のスタッフに目を配り、メンタル面まで管理・情報共有化していける人数はおおよそこの辺りだろうからである。

この際2倍、3倍、4倍と陣容を拡大していくには、代理店の経営理念を皆で作成確認し合い、それを推進していく上で、それだけマネージャーないしサブリーダーの養成が必要となる。このような陣容の代理店をかつては「大型化」範疇に入れて議論舌きらいがあるが、小規模代理店とサイズの違いはあっても事業の中身は変わらず、むしろ「スモール」ビジネスの範疇で考える方が適しているように思われる。

◇「スマート」の「S」

そして2番目は「スマート」ビジネスの「S」である。「スマート」とは、賢い、とか粋な、とともに高知能、ITを活用した、という意味である。まさにITの先進技術によって代理店事業も新たな地平が用意されてきている。「飛び道具」を活用すれば、地域の限定性を情報面で突破できる自在性を手に入れられる。まさにスモールビジネスモデルに適した環境の到来である。保険の契約手続きや保険料の清算方法も、顧客接点での一元的業務完結の可能性が広がっている。スマートホンやタブレット型端末の導入はまさに保険会社や代理店のビジネス、営業シーンを劇的に変えることは間違いない。規模的には小さくても情報の武器を縦横に活用することにより、効果的な事業の展開、顧客サービス提供が可能になっている。

保険の世界は、人と人のネットワークビジネスであるが、メディアが多様化し、顧客接点広がれば広がるほど、フェースツーフェースのビジネスモデルの優位性がクローズアップされる。保険代理店の役割も保険会社の救急する商品を顧客に提案し提供する保険販売機能や事故時の安心提供機能にとどまらず、生活シーンに即した総合的な支援業、あるいは中小法人への事業支援業へとその事業モデルの転換も求められる時代を迎えている。すなわち、多様な生活シーン、ビジネスシーンでの問題解決支援業としての代理店の立ち位置、組み立て加工業、付加価値業としての、その存在価値、重要性はいつそう強まる。

それに応え得る専門家ネットワーク構築が求められる。改めて顧客と代理店のかかわりは質的にどのような向上が必要かも問い直すところとなろう。

◇「センス」の「S」

そして最後に、「センス」すなわち感性、感受性の「S」である。顧客に対する思いやり、心配りこそ、専門プロ代理店の強みである。顧客の『心地よさ』を目指した顧客サービスや店舗作りに意を用いる代理店も増えつつある。

まさにこれからの専門プロ代理店にとって、他ではない自店を選んでもらうための質的な違いをどのように見せていくかが問われている。と言うのも、代理店の価値や品質、サービスの質というのは目に見えないため、それを顧客に認知してもらうきっかけ、手掛かりをどのように具体的に作っていくかが問われるのである。代理店ならではの目印、ブランド作りといってもよい。かつてはこのブランドと言えば、取引先の保険会社の看板を掲げ、名刺に保険会社名を大書きして済まし、電話口では「〇〇保険会社の〇〇代理店です」と言っただけで済んだ代理店を多く見かけ不思議に思ったものだ。現在のように保険会社も巨大化・グループごとに集約化し、保険会社ブランドで顧客に対し差別化が難しくなると、さすがに代理店自らの存在感を顧客にアピールせざるを得なくなったと言える。

代理店の価値を端的に物語るのが『いざという時に思い出すあの御顔』である。お客さまが誰を頼りにしているか、その優先順位の筆頭に代理店名が来れば、それこそお客さまに代理店名が鮮明に刻み込まれている証左であり、代理店ブランドを究極的に言い表している。今日では、さらにそれをブラッシュアップ（磨き上げ）代理店の価値、品質の「見える化」をどのように具体的に推進できるか、まさに知恵を絞った対応が求められる。それは、事務所外観や内装、コンサルルーム、看板、統一したカラー、パンフ、提案スタイル・企画文書、ホームページ、広告、ミニコミ誌・経済誌、各種媒体等への情報提供、従業員の服装、立ち居振る舞い、社会的認定資格、専門家ネットワーク、セミナーの催し、地域イベント参加、各種相談窓口の開設などさまざまな展開が考えられる。こうした見える化を通じ、代理店は、顧客への生活支援業、経営支援業をどれだけ強化できるかがカギとなり、その際、問われるのがセンスである。是非これからのビジネスに対する想像力を働かせてほしい。

以上、専門プロ代理店の在り方を考える際に、3つの「S」を手掛かりにして整理してみるとその立ち位置がより明確になるのではないかと。皆さんもキーワードをいろいろ考えてみてほしい。そこに、今後の方向性を考える上で、いろいろなヒントが出てくるのではないかと。

(保険ジャーナリスト、inswatch 編集人)

間の宿から大井宿へ

中山道は、中津川宿から離れて、間の宿で栄えた秋葉街道のT型の分岐点に来ます。この分岐点には大きな二つの常夜灯があります。これは遠州(静岡県)の秋葉山を案内するもので、常夜灯には「秋葉大権現」「これよりあきばみち」などと掘られています。ここから秋葉山まで28里、約112キロメートルの距離がありました。

ところで、現在でも「正一位秋葉神社祈祷出符」と書かれたお札を台所に置いてある家庭が多く見られますが、これは古くから火除けの神さまと知られている遠州の秋葉神社のお札なのです。火除けの神様だから台所にあるのですね。

かつては、全国各地から、このお札を頂きに遠州の、信州に近い標高866メートルの秋葉山山頂近くにある秋葉神社まで詣でていたのです。



多くは、伊勢神宮、善光寺など同じように、お金を出し合い何戸かに1人、毎年輪番で参詣者を出すという「参拝講」という制度を設けて、毎年、全員分のお札を頂きにいったのです。全員が行くとお金がかかるので、例えばある地区に80戸あると仮定して10戸に1人の代表だと、8年交代で10人が参詣者となり、現在でも見られる西国八十八ヶ所巡りのような白装束を着て80枚のお札を頂きに秋葉山に出かけるということになります。もっとも当時の富裕層は個人的に、白装束を着ずに下男を連れて優雅な物見遊山気分で行くようですが……。

現在は、静岡県の秋葉山へ出かけなくても、近くの神社等でお札は頂けますが、美濃市のある地区では、現在でも静岡県の秋葉山まで出かけるそうです。

さて、中山道に戻ります。恵那市との境あたりに将来リニア中央新幹線の駅ができるということです。このあたりは東山道、中山道、国道19号、JR中央本線、中央自動車道、そしてリニアと、今も昔も交通の要ということになりそうですね。

中山道は恵那市に入りまもなく甚平坂を上ると、広重の「木曾街道六十九次・大井宿」が描かれた石製プレートがある甚平公園に着きます。すぐ近くに根津甚平を祀る根津神社があります。鎌倉時代、信州の桔梗ヶ原に棲む恐ろしい「八重羽の雉子」の退治を頼朝から命じられた根津甚平が、雉子を追って美濃までやって来ましたが、甚平は、この坂で息絶えたという伝説が残っています。なお、雉子ではなく悪人という伝説もあります。

中山道は、まもなく大井宿に着きます。



(まつお・いち) ライフワークは地域史(近世交通史)。著書は『飛騨街道紀行』『北陸街道紀行』等多数。

SHINWAグループの 車選び教室 Vol. 1

SHINWA グループ 会長 伊藤 彰浩

平素は SHINWA グループにご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

先日ある代理店様からご相談をいただきました。それは失敗しない中古車選びのコツです。購入した後に後悔しきりの中古車を手に入ってしまったお話を聞く事は意外と多いのです。たぶんこれを読まれている皆さんは中古車購入の機会はあまり無いとは思いますが、でも車が好きで希少車やレトロな車に興味ある方は多いのではないのでしょうか？ かくいう私も昭和の車が大好きで、チャンスがあったら手に入れたい車はレトロな車で、現在新車で販売されている車にはどうしても手に入れたいと思う車種はほとんど無いのです。まあ私ごととはさておき、免許を取ったばかりで運転に不慣れな子供に新車はちょっとと思ひ、中古車でもと考えるとしたら、どのような基準で購入されますか？ 旧知の中古車販売店もいいですが、中古車雑誌を見た時に選択基準が少しは解る豆知識があったら読んでいて楽しいかも知れませんね。

それではまず修復歴（有）と（無）の違い、これはパネルを交換したとか钣金したかの修理履歴の有る無しではなく、骨格に関しての修理があったかどうかなのです。（溶接してあるパネルを交換したときは修復歴（有）になります）事故によるダメージの程度はプロに見てもらわないと判りませんが、修復歴（有）と（無）は選択基準の第一条件になります。次に車検付中古車と表示があるのに購入しようと見積もりしてもらったら車検代が別途請求で思った以上に高い提示だったが、断りづらくて購入してしまったなどの経験をされた方もあるかと思ひます。あの車検付という表示は当然車は車検が無いと乗れませんから、これから車検を取りますよと考えて下さい。その費用を含んだ金額表示は諸費用がいくらという表示以外規制は無いのでよく確認された方が良いでしょう。中には込み込みでいくらですと表示した親切な中古車販売店もありますのでお店選びはこの辺の基準も大事です。そして車両評価点が 4.5 とか 4.0 とか 3.5 とか A 点 0 点とか...あれは車両状態がどうなのかを表示しています。A 点 0 点は事故車ですよと表示しているのです。

でもやっぱり知識があっても中古車選びは難しいです。できればプロの目に任せるのが一番です！ 中古車選びもぜひお任せ下さい！！ 車のことならなんなりとご質問下さい！！ SHINWA グループは、代理店の皆様、そして契約者様のメリットを常に考えての情報や新たなご提案が、提供できるように日々努力して参ります。

SHINWAグループ13社の連絡先	TEL	FAX
オートボデーショップ篠田 (大垣市)	0584-74-7892	0584-74-7833
平野钣金工業 (岐阜市南西部・羽島郡)	058-271-0773	058-271-0784
オートサービスイトウ (岐阜市北西部・瑞穂)	058-327-7167	058-327-2708
名和自動車工業 (岐阜市東部・各務原)	058-245-0261	058-245-0262
和田钣金工業 (岐阜市中西部)	058-251-7065	058-251-7095
AUTOPIT羽島钣金 (羽島市以南・愛知北西部)	058-392-1521	058-392-1520
成田钣金工業所 (多治見市)	0572-22-5456	0572-24-2244
東美自動車 (中津川市)	0573-68-3126	0573-68-3125
リフレッシュセンター渡辺 (瑞浪市)	0572-68-0980	0572-68-0982
カトー自動車工業 (可児市)	0574-62-3207	0574-62-3246
米野自動車工業 (下呂市)	0576-25-2549	0576-25-4109
オートリペアカワシマ (岐阜市北部・山県市)	058-232-4185	058-232-4108
三田自動車工業 (西濃地域全般・大垣市・垂井・養老)	0584-91-7381	0584-91-7379

損害事故復旧サービス

< 今月の復旧事例 >

配送業者の車が、配達時お客様のカーポートの支柱に車をぶつけ、支柱破損と屋根部分に歪みがでてしまいました。

カーポートが古く同じ品番がなく、同等品で全復旧することになりました。

又床コンクリートのデザイン仕上げも同時に復旧しました。

< 場所 > 大垣市地域

< 費用 > ￥892,500- (税込)

被害状況



復旧後



☆季節のリフォームカレンダーを掲載します。ご参考になれば幸いです。

リフォーム・カレンダー

3月

▼1日 <雛祭り>

▼15日

<春分の日>

4月

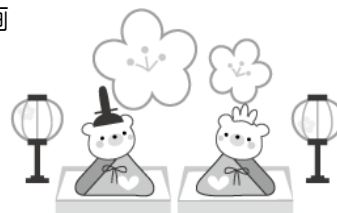
▼1日

【外回り】雪などによる瓦、樋等の修理 / 改装工事計画

【内廻り】畳、襖、建具等修繕/

●暖かくなってからの改装の年間計画を、家族でたてましょう。

お気軽にご相談下さい。



岐阜県損害保険代理業協会 提携会社

一級建築士在籍の **ホームステップ (株) イケダ**

☎ 058-271-6788 (24時間即日対応)

交通事故による損害復旧工事

No.0115

兵庫県高砂市地内

ガードレール復旧工事

復旧工事費用

346,500円

着工前



着工後



- * ガードレール3枚・基礎ブロック3基取替え。基礎ブロック据え直し7基の復旧工事となりました。
- * 堤防道路上での作業となり、規制車2台・交通誘導員4名の配置をしました。

夜間の緊急作業にも、迅速対応いたします。

Speedy Network で 東海・関西・北陸をカバーする

24時間・年中無休の安心対応

名古屋市一般・指名入札参加資格 法人コード708110

有限会社 岐垣創建 代表取締役 佐藤有巨

本社 TEL 0584-87-2633 FAX 0584-87-2635

金沢営業所 TEL 076-249-5128 FAX 076-249-5338

京都営業所 TEL 075-604-5888 FAX 075-604-5887

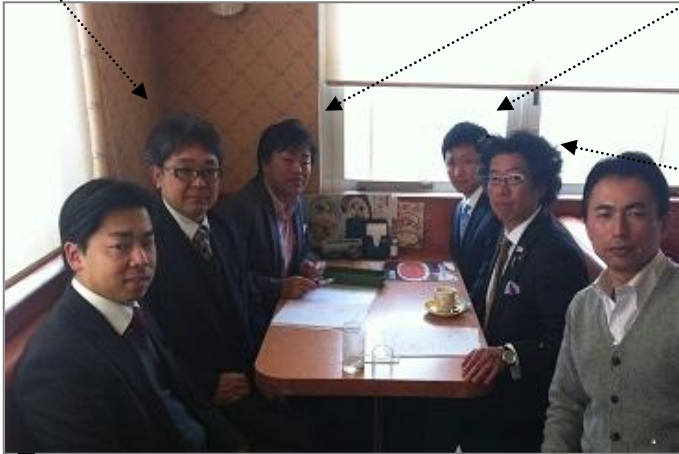
E-MAIL giensouken@vega.ocn.ne.jp

ホームページをご覧ください。 <http://www.giensouken.jp>

企画環境委員会紹介

『本年度より企画環境委員会でお世話になります。
まだまだ、分からないことだらけですが、委員会
には毎回参加し、皆様のご協力頂き代協活動に少
しでも貢献できるよう頑張ります』
宜しく、お願い致します
(東濃支部 (有) マスダ保険事務所 増田智幸)

(2/6 企画環境委員会開催時撮影)



本年度より岐阜支部の企画環境委員会に参加させて
いただいております。
まだまだ勉強不足のところはありますが、皆様のお
役に少しでも立てればと思っております。
宜しくお願いします。
(岐阜支部 (有) 棚橋保険事務所 棚橋健久)

公平公正な募集環境、代理店賠償、提携事業者
との連携など ひとつひとつ勉強させてもらっ
ています。

(西濃支部 (株) IP・LINK 水野一利)

企画環境委員になって3年目になります。
まだまだ勉強することも多いですが、皆さんの
力をお借りしながら、活動していきます。
中濃支部の代表として、支部及び代協に貢献でき
よう頑張ります。宜しくお願いします。

(中濃支部 (有) ヤマグチ保険 山口紘史)

飛騨支部から参加して3年目になります。
代協会員にとってプラスになる、情報提供が出来る
ように、委員会では議論しています。
遠い飛騨支部ですが、委員会を楽しみにしてい
ます。

(飛騨支部 保険タイム(株) 塚本直人)

担当の副会長を務めます小栗です。
力不足ですが少しでもお役に立てるように頑張
りたいと思います。

(東濃支部 オネスト保険サービス(株) 小栗孝一)

お詫びと訂正

1月号にて代理店紹介させていただきました岐阜支部 東海中央サポート株式会社様の掲載内容
(取扱い保険会社)に誤りがございました。

正しくは <取扱い保険会社> 損保 東京海上日動火災保険 計 1社
生保 東京海上日動あんしん生命 計 1社

訂正させていただき、改めてご紹介させていただきます。

関係各位には、ご迷惑をお掛けいたしましたこと深くお詫び申し上げます。 広報機関誌委員会

発行日/平成25年 2月25日 責任者/近藤信悟 発行/広報機関誌委員会
〒502-0912 岐阜市西島町8-10 Tel 058-294-1221 Fax 058-294-8051
E-mail: gfdaiikyo@opal.ocn.ne.jp <http://gifudaikyo.or.jp/>

【編集室メンバー】 笠城 茂、北村篤俊、和田英樹、水川博之、安江努、馬場浩之、
近藤信悟、小西恭弘、森 信彦